

ハザードマップを周知

党県議団 西日本豪雨踏まえ要望

神奈川県

神奈川県議会議会公明党議員

申し入れた。

団(渡辺均団長)は24日、黒岩祐治知事に対し、豪雨時の情報提供などについて



黒岩知事(中央)に水害対策を申し入れる党神奈川県議団

席上、渡辺団長は、今月の西日本の記録的豪雨では、行政からさまざまな情報が発表されていたにもかかわらず、避難が遅れ犠牲になった人が多かったことに触れ、「県民の命を守るため、浸水想定区域や土砂災害警戒区域などに関する情報をしっかり伝える必要がある」と指摘。①県が現在作成中の河川氾濫や高潮の浸水想定早期公表②SNSなどさまざまな媒体を利用した、避難所の情報を加えたハザードマップの県民への周知③避難指示について市町村に早めの判断を県として促すとともに、実際の豪雨時の対応に必要な助言に努める——などを求めた。

黒岩知事は、非常に重要な示唆だとし、「ハザードマップの周知などにしっかりと取り組みたい」と述べた。